

「より良き人生の完結に」

報 告 書

(平成 15 年 7 月 29 日 ~ 9 月 8 日実施)

調査の設計	1
結果の概要	4
単純集計	8
調査票	39



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

日本人の平均寿命が世界のトップクラス入りして久しい。なかでも長野県民の平均寿命の伸びは著しく、男性は78.90歳で全国トップ、女性も85.31歳で3番目の上位を飾るに至った（平成12年「都道府県別生命表」厚生労働省）。

このような長寿・高齢化社会の到来が現実のものとなったいま、健康、経済、こころなど各面にわたって必ずしもはっきりとした将来像が見極められない長い「老後」をどう生きるか。また、だれしも避けられない「人生の終末」を、不確定な要因のあらしにもまれながらどのように迎えるか。静かではあるが関心は確実に高まっている。

全国有数の長寿県ならではの課題として、長野県民の〈より良き人生の完結〉のとらえ方、取り組み方の実像を浮き彫りにし、かつ、ともに考えていく材料にするため、本世論調査を行う。

調査の設計

調査対象

長野県内に住む20歳以上の男女1,000人

抽出方法

層化二段階無作為抽出法。対象者は選挙人名簿から一定の間隔で抽出

調査方法

郵送

調査期間

2003年7月29日～9月8日

回収結果

有効回収数505人（50.5%）

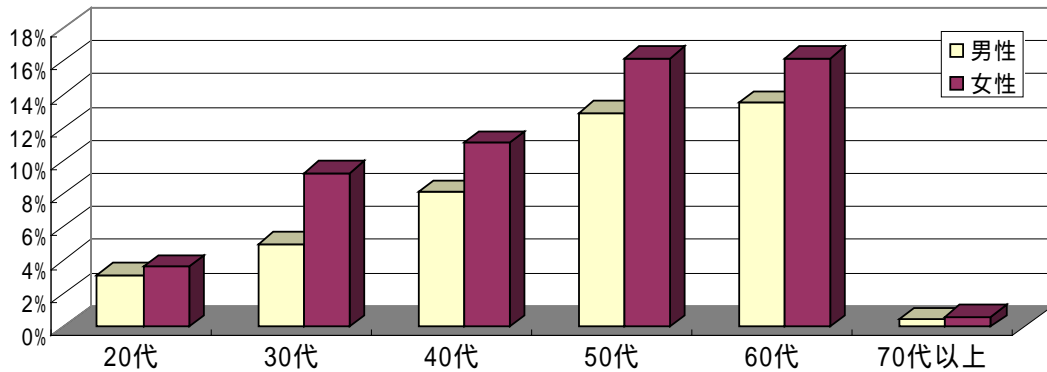
調査実施

社団法人長野県世論調査協会

サンプル内訳

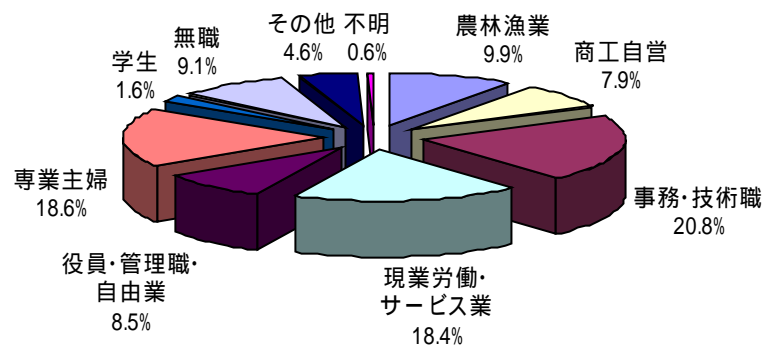
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	505	34	72	97	147	150	5
	100.0%	6.7%	14.3%	19.2%	29.1%	29.7%	1.0%
男性	217	16	25	41	65	68	2
	43.0%	3.1%	5.0%	8.1%	12.9%	13.5%	0.4%
女性	288	18	47	56	82	82	3
	57.0%	3.6%	9.3%	11.1%	16.2%	16.2%	0.6%



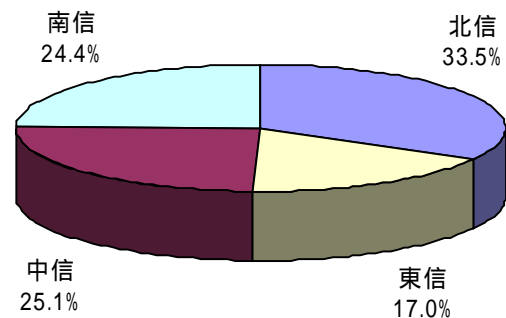
【職業】

農林漁業	50	9.9%
商工自営	40	7.9%
事務・技術職	105	20.8%
現業労働・サービス業	93	18.4%
役員・管理職・自由業	43	8.5%
専業主婦	94	18.6%
学生	8	1.6%
無職	46	9.1%
その他	23	4.6%
不明	3	0.6%



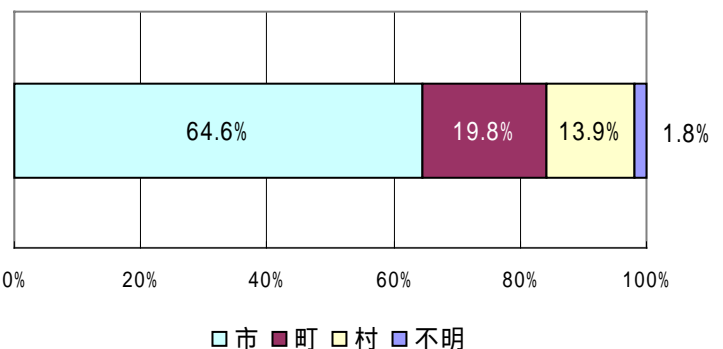
【居住地域】

北信	169	33.5%
東信	86	17.0%
中信	127	25.1%
南信	123	24.4%



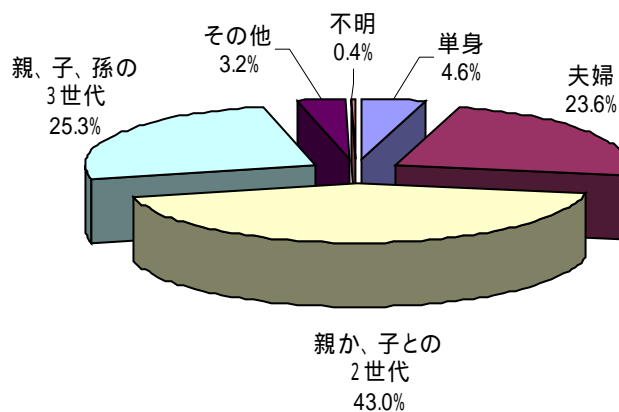
【市町村】

市	326	64.6%
町	100	19.8%
村	70	13.9%
不明	9	1.8%



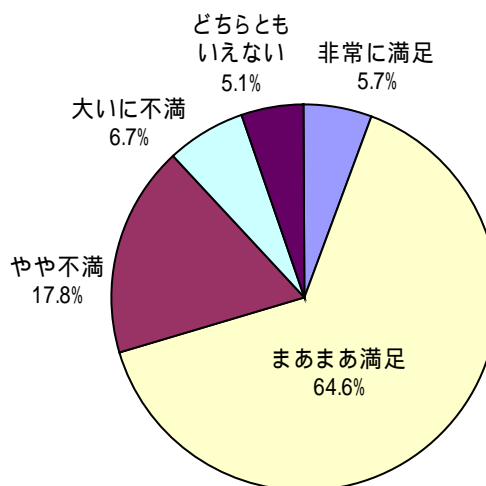
【家族構成】

単身	23	4.6%
夫婦	119	23.6%
親か、子との2世代	217	43.0%
親、子、孫の3世代	128	25.3%
その他	16	3.2%
不明	2	0.4%



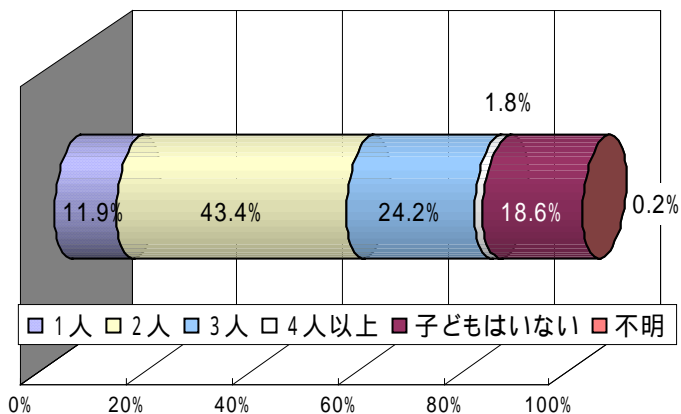
【暮らし満足度】

非常に満足	29	5.7%
まあまあ満足	326	64.6%
やや不満	90	17.8%
大いに不満	34	6.7%
どちらともいえない	26	5.1%



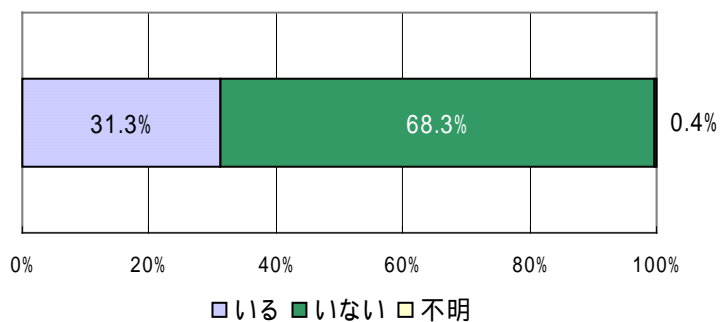
【子どもの数】

1人	60	11.9%
2人	219	43.4%
3人	122	24.2%
4人以上	9	1.8%
子どもはいない	94	18.6%
不明	1	0.2%



【同居の子ども】

いる	158	31.3%
いない	345	68.3%
不明	2	0.4%



注 数表・グラフの%数字は小数点二位で四捨五入。合計は100にならない場合もある = 以下同じ

結果の概要

人間に必ず訪れる「老後」「死」。性別や世代などそれぞれの人がかかっている条件によって受け止め方や対処の仕方に違いがあることは、日常しばしば経験している。

本世論調査の設問とその回答を横断的に概観すると、長野県民が抱いている現在の傾向はおおよ次のようにまとめられる。

より良き人生の完結とは 県民意識の平均像

今回の調査結果から回答の比率が高いところを大まかに拾って「平均的な県民意識」をみると、

現在の長寿・高齢化社会は好ましいことで、健康維持のために規則正しい生活に心がけている。「老後」は70歳くらいからをいうと思う。定年は延長したほうがよい。老後には

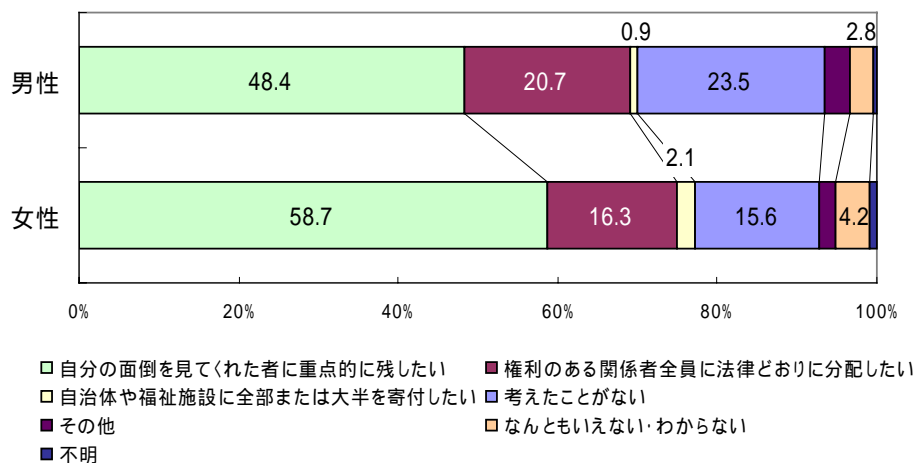
主に経済的な面で不安があるが、子どもや孫など肉親と過ごしたい。病気や高齢になったら自宅で介護を受けたい。遺言書を作るつもりはない。もし遺産があるなら自分の面倒を見てくれたものに重点的に残したい。

自分の死を話題

にすることには抵抗感はいらないが、死はやはり怖いことと思う。がんに罹ったら告知してほしい。命が限られた事態になったら、身の整理など段取りをきちんとしたい。自宅で最期を迎えることにはこだわらない。葬儀は簡素に行ってもらいたいし、場所は専門の葬儀場がよい。生前葬や散骨はしたくない。自分で自分の命を絶つことは、絶対にやってはいけない。

自分には先祖代々の墓があり、そこに入ってもよいと思っている。法要は1回忌だけが全く行わなくてもよい。自分としては、信仰心は薄い方で靈魂の存在もそれほどには信じていない。

性別と遺産との関連では

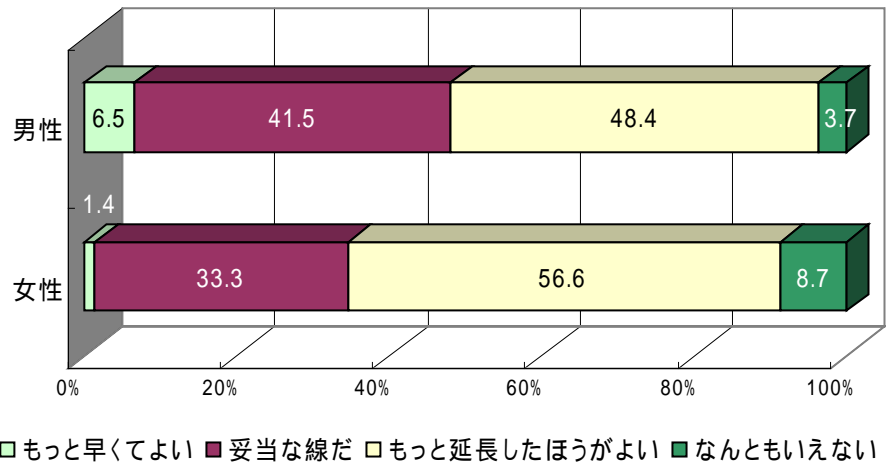


女性の意識に変化の兆し

男性に比べて女性の方が、晩年期などに対する考え方で流動化が進んでいるように見られる点はいくつかあるのが、今回の調査結果を彩る1つの特徴となっている。

例えば 定年をもっと「延長してほしい」
病气などで介護が必要になったら「病院や施設に入りたい」 命が限られた事態になったら身の整理など「段取りをきちんとしてほしい」 自宅で最期を迎えることに「こだわらない」 自分の葬儀を行うことをそれほど

性別と「60歳定年」との関連では



強くは「望まない」 老後を過ごす相手としては気の合った仲間などとの「共同生活」がよい など具体的な事柄で男性をしのいでいる。

これに対して、男性は 平均寿命が伸びることを「好ましい」と思う 自分の死を話題にすることに抵抗感はない 自分の法要は長めに営んでほしい 介護が必要になったら「自宅で」受けてほしい 先祖代々の墓があり、死後はそこに入りたい など、抽象的な事柄や身の周りで長く行われてきたことをそのまま続けるなどの点で優位を示している。

このように比較すると、女性の意識の中には“時代を変える”方向が兆しているようにも受け取れる。

「人生の年輪」が反映しないケースも

「人生の年輪」を重ねるにつれて人は考え方や生活態度が変わる、と一般に言われる。こうした年代意識に対し、今回の調査では主に次のような傾向がみられた。

(イ) 年代が上がるとともに比率も上がるもの

- 命が限られた事態になったら、多少の苦痛があっても病院で治療を受けたい
- 自宅で最期を迎えたい
- 自分の葬儀を長期に行ってほしい
- 入る予定の墓があり、その墓に入りたい
- 自分の信仰心は篤い方だと思う

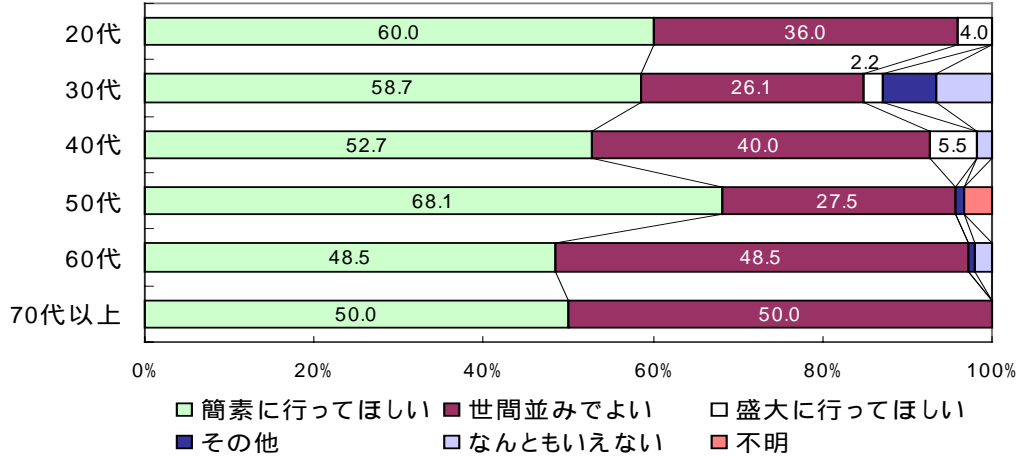
(ロ) 年代が上がるとともに比率が下がるもの

- 経済面で老後に不安がある
- 死は怖いことだと思う
- 命が限られた事態になったら、臓器移植の提供者(ドナー)になってもいい
- 葬儀は自宅で行ってほしい

(八) 年代と比率が直接には結びつかないもの

命が限られた事態になったら、自分の仕事などの役割を果たす
 自分で自分の命を絶つことは「絶対にしてはならない」
 葬儀は「簡素に」行ってほしい
 「生前葬」や「散骨」はしたくない

年代と葬儀の規模との関連では



上記3区分のうち、(八)は年代の進み具合が回答の比率に反映していない。社会に新しい状況や現象が起きてきても、人のこころが対応するには時間がかかることを示しているようだ。

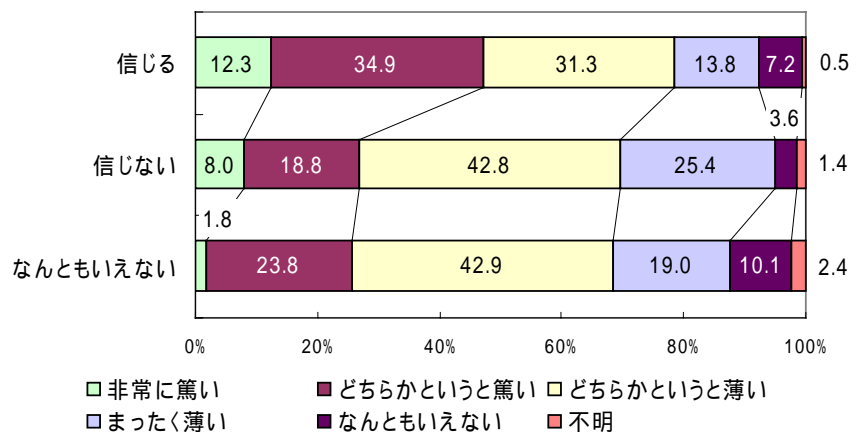
“ゆらぎ”の中の信仰心と靈魂観

「老後」とか「死」を考える場合、比較的近い関係として思い出されるのが信仰心と靈魂の存在についての考え方ではなかろうか。欧米諸国などに比べて、日本では人前で無信心とか無信仰を言いやすい雰囲気があるとされるが、県民に信仰心を聞いたところ3割強は「(自分は)篤い方だと思う」と答えた。この数字は必ずしも低いとばかりは言い切れない要素もあると思われる。家内安全のお札、交通安全のお守り、入試合格の祈願をどうみるか。また、結婚式や葬儀を宗教色無しで行う人はまだ少数派だし、元旦の「二年参り」に出かけたり先祖の墓参りや法要もごく普通に行われていることをどう考えるかなどで、信仰心の自己評価は変わってこよう。

こうしてみると、自分の信仰心は「まったく薄い」と感じてながら、その過半数が自分の葬儀を「行ってほしい」としているところなどにも、こうした心の“ゆらぎ”が現れているとみられる。

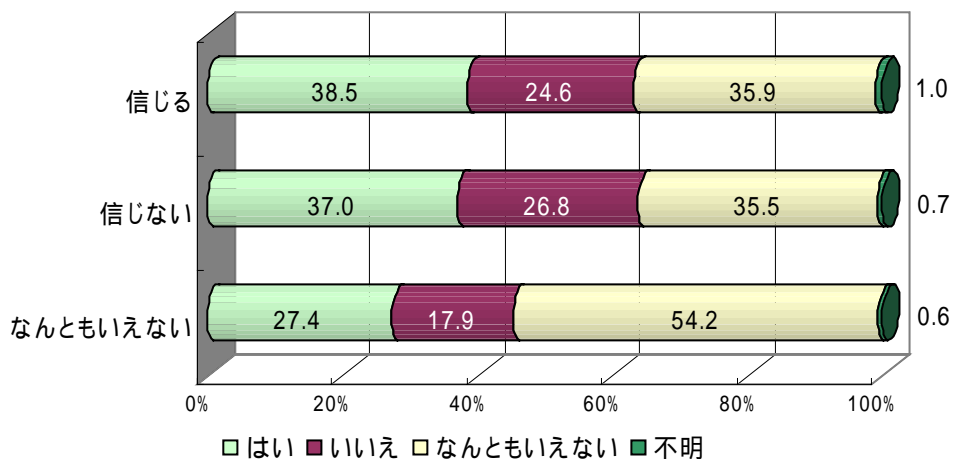
一方、靈魂の存在を「信じる」とした人の中で、自

靈魂の存在と信仰心との関連では



分の信仰心を「篤い方だ」とする向きと「薄い方だ」とする向きは、ともに4割台半ばで並んだ。県民は信仰心と靈魂の存在をそれほど密接には関連させて考えていないのかもしれない。さらに、靈魂の存在を「信じる」「信じない」にかかわらず、臓器移植の提供者になることについて「はい」がともに4割弱、「いいえ」はともに2割台半ばだった。こころと身体は互いに支えあう関係にあるとの観点に照らすと、長野県民は靈魂観だけでなく身体観の点でも“ゆらぎ”の中にあるようだ。

靈魂の存在とドナーとの関連では



単純集計

6割強が「好ましい」の感覚

問1 あなたは、平均寿命が伸びる日本の高齢化・長寿社会について、どのようにお考えですか		
たいへん好ましい	119	23.6%
どちらかといえば好ましい	197	39.0%
どちらかといえば好ましくない	77	15.2%
まったく好ましくない	6	1.2%
なんともいえない・わからない	104	20.6%
不明	2	0.4%

首位に「規則正しい生活」 続いて「安全な食品」

問2 あなたは、日ごろ健康維持のために主にどんなことを心がけていますか(2つ以内)		
規則正しい生活	215	42.6%
安全な食品の摂取	187	37.0%
散歩など軽い運動	174	34.5%
十分な睡眠	168	33.3%
ジョギングや水泳などの本格的な運動	37	7.3%
その他	25	5.0%
特別にしていることはない	62	12.3%

「延長を」半数超す 3割台半ばは「妥当」の判断

問3 あなたは、「60歳定年」をどう思いますか		
もっと延長したほうがよい	268	53.1%
妥当な線だ	186	36.8%
もっと早くてよい	18	3.6%
なんともいえない・わからない	33	6.5%

「70歳」が半数強 続く「65歳」は2割台

問4 あなたは、何歳くらいからを「老後」というと思いますか		
60歳くらい	27	5.3%
65歳くらい	116	23.0%
70歳くらい	262	51.9%
75歳くらい	54	10.7%
80歳くらい	27	5.3%
その他	9	1.8%
なんともいえない・わからない	10	2.0%

「心身の衰え」「年金生活」3割台半ばで首位に並ぶ

問5 あなたは、「老後」とはどのような状態になったところから始まると思いますか		
生活習慣病や心身の衰えがめだち始めたところから	176	34.9%
働かず年金生活に入ったところから	172	34.1%
フルタイムの仕事を引退したところから	70	13.9%
周囲から老人扱いされていると感じるようになったところから	53	10.5%
その他	9	1.8%
なんともいえない・わからない	21	4.2%
不明	4	0.8%

「ある」が8割の大台に迫る高水準

問6 あなたは、老後に不安がありますか		
ある	395	78.2%
ない	56	11.1%
なんともいえない・わからない	51	10.1%
不明	3	0.6%

過半数が「経済的なこと」を挙げる

問7 不安なことは、次のうち主にどれですか		
経済的なこと	214	54.2%
健康面のこと	78	19.7%
介助を依頼する体制や施設のこと	50	12.7%
なんとなく言葉では表しにくい不安	40	10.1%
家族や近隣との人間関係のこと	10	2.5%
その他	3	0.8%

「子ども、孫など肉親」が首位で4割超す

問8 あなたは、ご自身の老後をどのような相手と過ごすことを望みますか		
子ども、孫など肉親と	224	44.4%
夫婦だけで	178	35.2%
気の合った仲間や友人との共同生活	45	8.9%
1人だけで	14	2.8%
老人ホームなど施設で	12	2.4%
その他	0	0.0%
なんともいえない・わからない	26	5.1%
不明	6	1.2%

トップは「公的支援」 続いて「病院や施設」

問9 あなたは、病気や高齢で介護などが必要になったら、どうしたいと思いますか		
自宅で主に介護保険などの公的支援を受けたい	194	38.4%
病院や施設に入りたい	170	33.7%
自宅で主に家族の世話を受けたい	64	12.7%
その他	5	1.0%
なんともいえない・わからない	68	13.5%
不明	4	0.8%

「ない」6割 「ある」は3割にとどまる

問10 あなたは、ご自分の死を話題にすることに抵抗感がありますか		
かなりある	29	5.7%
どちらかといえばある方だ	119	23.6%
どちらかといえばない方だ	191	37.8%
まったくない	115	22.8%
なんともいえない・わからない	49	9.7%
不明	2	0.4%

「思う」が5割台半ば 「思わない」は1割の少数派

問11 あなたは、死は怖いことだと思いますか		
思う	80	54.1%
思わない	15	10.1%
なんともいえない・わからない	51	34.5%
不明	2	1.4%

「作るつもりはない」がトップで4割強

問12 あなたは、遺言書を残すことについて、どう考えていますか		
遺言書を作るつもりはない	215	42.6%
これから遺言書を作るつもりだ	112	22.2%
すでに遺言書を作っている	2	0.4%
その他	8	1.6%
なんともいえない・わからない	161	31.9%
不明	7	1.4%

「面倒を見てくれた者に重点的に」5割強で単独首位

問13 あなたは、ご自分に遺産があるとしたら、どのようにしたいとお考えですか		
自分の面倒を見てくれた者に重点的に残したい	274	54.3%
考えたことがない	96	19.0%
権利のある関係者全員に法律どおりに分配したい	92	18.2%
自治体や福祉施設に全部または大半を寄付したい	8	1.6%
その他	13	2.6%
なんともいえない・わからない	18	3.6%
不明	4	0.8%

「告知してほしい」8割台半ばの高率に

問14 あなたは、がんになった場合、自分に対する告知についてどうお考えですか		
告知してほしい	274	54.3%
病状次第では告知してほしい	158	31.3%
病状次第では告知しないでほしい	25	5.0%
告知しないでほしい	18	3.6%
その他	1	0.2%
なんともいえない・わからない	26	5.1%
不明	3	0.6%

4割近くが“受けたくない”

問15 あなたは、「自分の命が限られるような深刻な事態」になったとすれば、どのようなことを望みますか		
A 多少の苦痛があっても、病院でできる限りの治療を受けたい		
はい	163	32.3%
いいえ	194	38.4%
なんともいえない	143	28.3%
不明	5	1.0%

「はい」と「いいえ」3割台後半で並ぶ

B 自分の仕事や社会での役割を果たすことにこだわりたい		
はい	182	36.0%
いいえ	188	37.2%
なんともいえない	131	25.9%
不明	4	0.8%

7割近くが“段取りをきちんとしてほしい”

C 身の整理と相続や葬儀などの段取りをきちんとしてほしい		
はい	343	67.9%
いいえ	62	12.3%
なんともいえない	95	18.8%
不明	5	1.0%

“なってもいい”3割台半ば 4割には“ためらい感”も

D 臓器移植のための提供者(ドナー)になってもいい		
はい	174	34.5%
いいえ	116	23.0%
なんともいえない	210	41.6%
不明	5	1.0%

6割が「こだわらない」「こだわる」は2割

問16 あなたは、自宅で最期を迎えることにこだわる方だと思いますか		
こだわらない方だと思う	302	59.8%
こだわる方だと思う	102	20.2%
その他	2	0.4%
なんともいえない・わからない	97	19.2%
不明	2	0.4%

半数以上が否定派 「一概には…」も4割近くに

問17 あなたは、自分で自分の命を絶つ行為をどうお考えですか		
絶対にしてはならない行為だ	283	56.0%
一概に否定しきれない場合もあると思う	185	36.6%
その他	1	0.2%
なんともいえない・わからない	34	6.7%
不明	2	0.4%

行うことを「望む」のは6割台半ば

問18 あなたは、ご自分の葬儀を行うことを望みますか		
望む	137	27.1%
まあ望む	187	37.0%
あまり望まない	99	19.6%
全く望まない	39	7.7%
その他	4	0.8%
なんともいえない	37	7.3%
不明	2	0.4%

ほぼ半数が“専門の斎場”を望む

問19 あなたは、ご自分の葬儀をどこで行ってほしいと思いますか		
専門の葬儀場で行ってほしい	166	51.2%
自宅で行ってほしい	48	14.8%
寺院・教会などの宗教施設で行ってほしい	47	14.5%
その他	18	5.6%
なんともいえない・わからない	43	13.3%
不明	2	0.6%

「簡素に行って」6割弱が求める

問20 あなたは、ご自分の葬儀の規模はどうあってほしいとお考えですか		
簡素に行ってほしい	185	57.1%
世間並みでよい	120	37.0%
盛大に行ってほしい	5	1.5%
その他	5	1.5%
なんともいえない・わからない	6	1.9%
不明	3	0.9%

「行いたくない」生前葬は8割 散骨は6割

問21 あなたは、最近、葬儀などで話題になっている新しい試みについてどうお考えですか		
A 自分の存命中に葬儀を行う「生前葬」		
ぜひ行いたい	8	1.6%
できたら行いたい	16	3.2%
あまり行いたくない	166	32.9%
絶対に行いたくない	231	45.7%
なんともいえない	80	15.8%
不明	4	0.8%
B 海や山などに遺骨をまく「散骨」		
ぜひ行いたい	16	3.2%
できたら行いたい	63	12.5%
あまり行いたくない	144	28.5%
絶対に行いたくない	175	34.7%
なんともいえない	102	20.2%
不明	5	1.0%

「ある」が圧倒的で8割を超す

問22 あなたは、ご自分が入る予定のお墓はありますか		
ある	414	82.0%
ない	90	17.8%
不明	1	0.2%

7割までが「先祖代々」

問23 それはどのようなお墓ですか		
先祖代々の墓	291	70.3%
自分の代で造った墓	65	15.7%
自分の夫・妻の実家や親戚等の墓	38	9.2%
寺院など共同の墓	8	1.9%
その他	9	2.2%
不明	3	0.7%

肯定派は男性9割、女性は8割を下回る

問24 その墓に入りたいと思いますか		
入りたい	211	53.6%
入ってもよい	123	31.2%
入りたくない	23	5.8%
その他	5	1.3%
なんともいえない・わからない	31	7.9%
不明	1	0.3%

ほぼ4割が「造りたい」 1割台半ばは「造らない」

問25 これからどうするお考えですか		
造りたい	37	41.1%
造らない	14	15.6%
その他	3	3.3%
なんともいえない・わからない	36	40.0%

「篤い方」3割強 「薄い方」は6割に迫る

問26 あなたは、ご自分の信仰心についてどうお感じですか		
非常に篤い方だと思う	38	7.5%
どちらかというと篤い方だと思う	134	26.5%
どちらかというと薄い方だと思う	193	38.2%
まったく薄い方だと思う	95	18.8%
なんともいえない・わからない	37	7.3%
不明	8	1.6%

トップ「1回忌だけでよい」3割強

問27 あなたは、ご自分の法要について、どのようにお考えですか		
1回忌だけでよい	158	31.3%
7回忌くらいまでは営んでほしい	136	26.9%
一切してほしくない	40	7.9%
出来るだけ長く営んでほしい	39	7.7%
その他	24	4.8%
なんともいえない・わからない	106	21.0%
不明	2	0.4%

4割近くが「信じる」 「信じない」は3割弱

問28 あなたは、靈魂の存在を信じますか		
信じる	195	38.6%
信じない	138	27.3%
なんともいえない	168	33.3%
不明	4	0.8%

調査票

【日ごろのこと】

問1 あなたは、平均寿命が伸びる日本の長寿社会について、どのようにお考えですか。

- たいへん好ましい
- どちらかといえば好ましい
- どちらかといえば好ましくない
- まったく好ましくない
- なんともいえない・わからない

問2 あなたは、日ごろ健康維持のために主にどんなことを心がけていますか。
2つ以内でお答えください。

- ジョギングや水泳などの本格的な運動
- 散歩など軽い運動
- 安全な食品の摂取
- 十分な睡眠
- 規則正しい生活
- その他 ()
- 特別にしていることはない

【老後について】

問3 あなたは、「60歳定年」をどう思いますか。

- もっと早くてよい
- もっと延長したほうがよい
- 妥当な線だ
- なんともいえない・わからない

問4 あなたは、何歳くらいからを「老後」というと思いますか。

- 60歳くらい
- 65歳くらい
- 70歳くらい
- 75歳くらい
- 80歳くらい
- その他 ()
- なんともいえない・わからない

問5 あなたは、「老後」とはどのような状態になったころから始まると思いますか。

- フルタイムの仕事を引退したころから
- 働かず年金生活に入ったころから
- 生活習慣病や心身の衰えがめだち始めたころから
- 周囲から老人扱いされていると感じるようになったころから
- その他 ()
- なんともいえない・わからない

問6 あなたは、老後に不安がありますか。

- ある
- ない
- なんともいえない・わからない
- 問7、8へ
- 問8へ
- 問8へ

問7 (問6で「ある」とお答えの方に)

不安なことは、次のうち主にどれですか。1つに絞ってお答えください。

- 経済的なこと
- 健康面のこと
- 家族や近隣との人間関係のこと
- 介助を依頼する体制や施設のこと
- なんとなく言葉では表しにくい不安
- その他()

問8 あなたは、ご自身の老後をどのような相手と過ごすことを望みますか。

- 1人だけで
- 夫婦だけで
- 子ども、孫など肉親と
- 老人ホームなど施設で
- 気の合った仲間や友人との共同生活
- その他()
- なんともいえない・わからない

問9 あなたは、病気や高齢で介護が必要になったら、どうしたいと思いますか。

- 自宅で主に家族の世話を受けたい
- 自宅で主に介護保険などの公的支援を受けたい
- 病院や施設に入りたい
- その他()
- なんともいえない・わからない

【死と向きあう】

問10 あなたは、ご自分の死を話題にすることに抵抗感がありますか。

- | | |
|----------------|---------|
| かなりある | 問11、12へ |
| どちらかといえばある方だ | 問11、12へ |
| どちらかといえばない方だ | 問12へ |
| まったくない | 問12へ |
| なんともいえない・わからない | 問12へ |

問11 (問10で「かなりある」「どちらかといえばある方だ」とお答えの方に)

あなたは、死は怖いことだと思いますか。

- 思う
- 思わない
- なんともいえない・わからない

問12 あなたは、遺言書を残すことについて、どう考えていますか。

- すでに遺言書を作っている
- これから遺言書を作るつもりだ
- 遺言書を作るつもりはない
- その他()
- なんともいえない・わからない

問13 あなたは、ご自分に遺産があるとしたら、どのようにしたいとお考えですか。

自分の面倒を見てくれた者に重点的に残したい
権利のある関係者全員に法律どおりに分配したい
自治体や福祉施設に全部または大半を寄付したい
考えたことがない
その他 ()
なんともいえない・わからない

問14 あなたは、がんになった場合、自分に対する告知についてどうお考えですか。

告知してほしい
病状次第では告知してほしい
告知しないでほしい
病状次第では告知しないでほしい
その他 ()
なんともいえない・わからない

問15 あなたは、「自分の命が限られるような深刻な事態」になったとすれば、以下の
ようなことを望みますか。

A 多少の苦痛があっても、病院でできる限りの治療を受けたい

はい いいえ なんともいえない

B 自分の仕事や社会での役割を果たすことにこだわりたい

はい いいえ なんともいえない

C 身の整理と相続や葬儀などの段取りをきちんとしてほしい

はい いいえ なんともいえない

D 臓器移植のための提供者(ドナー)になってもいい

はい いいえ なんともいえない

問16 あなたは、自宅で最期を迎えることにこだわる方だと思いますか。

こだわる方だと思う
こだわらない方だと思う
その他 ()
なんともいえない・わからない

問17 あなたは、自分で自分の命を絶つ行為をどうお考えですか。

絶対にしてはならない行為だ
一概に否定しきれない場合もあると思う
その他 ()
なんともいえない・わからない

【死のとき】

問18 あなたは、ご自分の葬儀を行うことを望みますか。

望む	問 19、20、21 へ
まあ望む	問 19、20、21 へ
あまり望まない	問 21 へ
全く望まない	問 21 へ
その他()	問 21 へ
なんともいえない	問 21 へ

問19 (問18で「望む」「まあ望む」とお答えの方に)
あなたは、ご自分の葬儀をどこで行ってほしいと思いますか。

自宅で行ってほしい	専門の葬祭場で行ってほしい
寺院・教会などの宗教施設で 行ってほしい	その他() なんともいえない・わからない

問20 (問18で「望む」「まあ望む」とお答えの方に)
あなたは、ご自分の葬儀の規模はどうあってほしいとお考えですか。

盛大に行ってほしい	その他
世間並みでよい	()
簡素に行ってほしい	なんともいえない・わからない

(全員の方に)

問21 あなたは、最近、葬儀などで話題になっている次のような新しい試みについて
どうお考えですか。

A 自分の存命中に葬儀を行う「生前葬」

ぜひ行いたい	絶対に行いたくない
できたら行いたい	なんともいえない
あまり行いたくない	

B 海や山などに遺骨をまく「散骨」

ぜひ行いたい	絶対に行いたくない
できたら行いたい	なんともいえない
あまり行いたくない	

問22 あなたは、ご自分が入る予定のお墓はありますか。

ある	問 23 へ
ない	問 25、26 へ

問23 (問22で「ある」とお答えの方に)
それはどのようなお墓ですか。

先祖代々の墓	問 24、26 へ
自分の代で造った墓	問 24、26 へ
自分の夫・妻の実家や親戚等の墓	問 24、26 へ
寺院などの共同の墓	問 26 へ
その他 ()	問 26 へ

問24 (問23で「先祖代々の墓」「自分の代で造った墓」「自分の夫・妻の実家や親戚等の墓」とお答えの方に)
その墓に入りたいと思いますか。

入りたい	その他
入ってもよい	()
入りたくない	なんともいえない・わからない

問25 (問22で「ない」とお答えの方に)
これからどうするお考えですか。

造りたい	その他 ()
造らない	なんともいえない・わからない

問26 あなたは、ご自分の信仰心についてどうお感じですか。

非常に篤い方だと思う
どちらかというと篤い方だと思う
どちらかというと薄い方だと思う
まったく薄い方だと思う
なんともいえない・わからない

【死後のこと】

問27 あなたは、ご自分の法要について、どのようにお考えですか。

出来るだけ長く営んでほしい	
7回忌くらいまでは営んでほしい	
1回忌だけでよい	
一切してほしくない	
その他 ()	
なんともいえない・わからない	

問28 あなたは、霊魂の存在を信じますか。

信じる	信じない	なんともいえない
-----	------	----------

- F 1 性別 男性 女性
- F 2 年代 20代 50代
30代 60代
40代 70代以上
- F 3 職業 農林漁業 専業主婦
商工自営 学生
事務・技術職 無職
現業労働・サービス職 その他
役員・管理職・自由業 ()
- F 4 居住地域 北信 東信 中信 南信
- F 5 居住市町村 ()市 ()町 ()村
()内に市町村名をお書きください。
- F 6 家族構成 単身 親、子、孫の3世代
夫婦 その他()
親(義父母を含む)か、子との2世代
- F 7 あなたが同居していない子ども・孫や父母、祖父母は、同じ市町村内に住んでいますか。
だれかは住んでいる
だれも住んでいない
- F 8 あなたは長男・長女ですか。
長男 長女 どちらでもない
- F 9 暮らし満足度 非常に満足 大いに不満
まあまあ満足 どちらともいえない
やや不満